

《2》

フデリンドウ (筆竜胆) リンドウ科

春咲くりンドウは秋のものとは違って小形である。中でもフデリンドウは最も小さく、丈は5〜10cmぐらい。アートセンターの南側のふるさと緑地の頂上に向かう山道の階段を上って行くと中段の左側に木漏れ日を受けて紫色の小さな花を咲かせている。日が当たらないと花が咲かないので、曇りや雨の日は見つけにくい。

なまえは、閉じた花の形から名付けられており、習字に使う筆に似ていることから。

春咲くりンドウは、このフデリンドウ以外に春リンドウがあります。違いは、花が大きく根のところに大きな葉があるのが春リンドウです。このフデリンドウは、新百合山手のまちづくり中は確認できていませんでしたが、まちづくりの中で緑地内の下草刈など緑地の管理が行われ、草地に日光がいつぱい照らし始めたため、咲き始めました。

まちづくりが完了してから6年になります。

写真のフデリンドウの周辺には、数株の花が咲いています。5月末ころまでは咲いていませんので、足元に気を付けながら眺めに来てください。

